

第26年度 SQiP 第3分科会  
「ソフトウェアレビュー」～Bチーム～

ソフトウェア品質不安に対する  
心理的側面に着目した、  
レビュー計画作成技法の提案

主査: 細川 宣啓 日本アイ・ビー・エム(株)  
副主査: 永田 敦 ソニー(株)  
アドバイザー: 森崎 修司 (国)奈良先端科学技術大学院大学

研究員: 奥山 剛 (株)山武  
小田部 健 (株)小野測器  
小原 美帆 TIS(株)  
牧野 将治 日本電子(株)  
山本 浩之 (株)システムフロンティア

# 物語の流れ

- ある日のレビュー会議室
- ダッキー部長への相談
- でも合意が取れない
- 部長、再び
- 不安のヒアリング
- まとめ  
～信頼、合意、安心～



# ある日のレビュー会議室

## マキノ主任

製品開発の担当。まだ担当になったばかりでターゲットの市場にあまり詳しくない。真面目で寡黙。



## ヤマモト上司

マキノ氏の上司。製品知識は豊富だが、関心は他社の動向にある。積極的で饒舌。



## オタバ品証部員

レビューのとりまとめ役。勉強熱心だが現場への応用が苦手。

会社のスキ一部に所属。



# ダッキー部長への相談

問題はレビューが『**発散**』してしまうこと

解決策はレビュー目的の『**絞り込み**』

必要な施策は参加者全員へのヒアリングと『**合意**』



オタベ品証部員

「次こそレビューを成功させてみせます！」

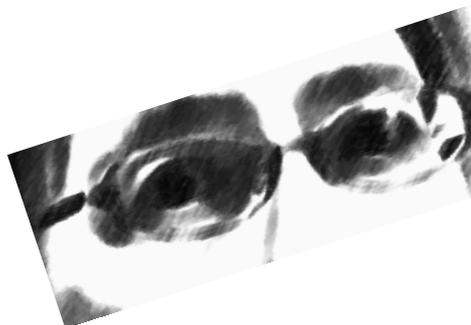
ダッキー部長

品質保証部の頼もしき相談役。

決して相手の話を遮らずどんな相談にでも応じる懐の深さを持ち、解決策を相談者自身に気付かせるスタイルに定評がある。



# でも合意が取れない



マキノ主任

「レビューの目的！？  
うーん、**全部**レビューして  
もらえると助かるかな」



オタバ品証部員

「**ヒアリング**しても  
レビュー目的を  
絞り込めない！」



ヤマモト上司

「目的？ そんなもの**無く**  
**ても**問題なく指摘できて  
るぞ」



# 部長、再び



不安を解決できれば  
『安心』して製品を開  
発できる



着目する点は  
『不安』

レビューの真の目的は、  
『ソフトウェア品質に対す  
る不安を除去すること』  
である



# 不安のヒアリング

不安ヒアリング  
シート

各自の観点

不安

目的へ転換

レビュー目的

マキノ氏の不安

『市場の要求に仕様が合っているか？』

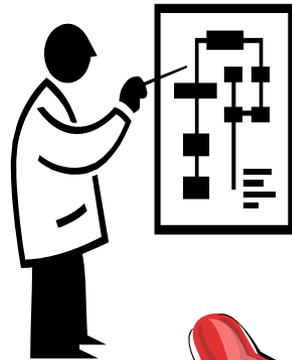
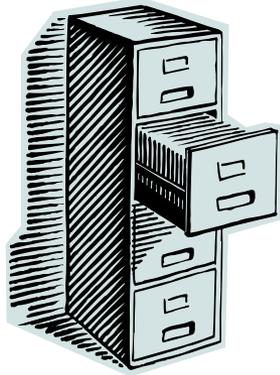
レビュー目的の合意

ヤマモト氏：製品知識を活かした、妥当性の確認を行う

オタベ氏：製品への不慣れを活かした、新規ユーザー視点での製品評価を行う

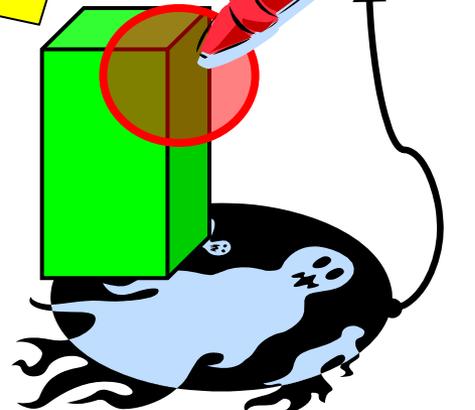
# まとめ

## ～信頼、合意、安心～



### 1, 不安ヒアリング シートの活用

関係者の知見や組織の持つ資産などから、レビュー対象に関して**不安に感じる点を挙げていく。**



### 3, レビュー観点の設定

関係者毎にレビュー目的を達成しうる**観点を設定する。**

### 2, レビュー目的への変換

列挙された不安を解消しうるよう**レビューの目的を設定する。**

# 終わり



ご静聴ありがとうございました